

エコアクション21 環境経営レポート

期間：令和3年4月～令和4年3月



作成日 令和4年8月10日

株式会社 東和設備

高知県高知市介良乙577番地1

目 次

- I. 組織の概要
- II. 対象範囲・レポートの対象期間及び発行日
- III. 環境経営方針
- IV. 環境管理実施体制
- V. 環境経営目標
- VI. 環境経営計画
- VII. 環境経営目標の実績
- VIII. 環境経営計画の取組結果とその評価
- IX. 次年度の環境経営目標
- X. 次年度の環境経営計画
- XI. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
- XII. 代表者による全体評価と見直し・指示

I. 組織の概要

- ・ 事業所及び代表者氏名 株式会社 東和設備
代表取締役 和田 富雄
- ・ 事業所所在地 〒781-5106
高知県高知市介良乙 577 番地 1
- ・ 環境管理責任者及び連絡先 代表取締役 和田 富雄
TEL 088-860-1449
FAX 088-860-4116
- ・ 環境管理事務局 和田 晃一
藤川 真由子
- ・ 事業内容 給排水衛生設備工事、空調設備工事、建築一式工事
液化石油ガス設備工事、消防施設工事
- ・ 設立 昭和 55 年 9 月 1 日 有限会社 東和設備工業 設立
平成 4 年 6 月 4 日株式会社 東和設備 設立
- ・ 資本金 資本金 40,000 千円
- ・ 許可の内容 特定建設業許可（管工事業・建築工事業）
許可番号：高知県知事許可(特 2)第 4447 号
一般建設業許可（消防施設工事業）
許可番号：高知県知事許可(般 2)第 4447 号
- ・ 会計年度 4 月～3 月

I. 組織の概要

事業の規模

指標	単位	対 象 期 間				
		(平成29年4月～平成30年3月)	(平成30年4月～平成31年3月)	(平成31年4月～令和2年3月)	(令和2年4月～令和3年3月)	(令和3年4月～令和4年3月)
工事等の件数	件	267	260	257	250	286
従業員数	人	12	14	14	15	11
売上高	万円	49,965	36,300	39,439	47,371	71,817
事務所床面積	m2	206	206	206	206	206
倉庫床面積	m2	267.1	267.1	267.1	267.1	267.1
資機材置場床面積	m2	275.3	275.3	275.3	275.3	275.3
工場・作業所等床面積	m2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(通路)		51.7	51.7	51.7	51.7	51.7
()						
()						

Ⅱ. 対象範囲・レポートの対象期間及び発行日

- ・対象範囲

株式会社 東和設備：全組織・全活動

- ・対象事業

給排水衛生設備工事、空調設備工事、建築一式工事

液化石油ガス設備工事、消防施設工事

- ・レポートの対象期間

令和3年4月1日～令和4年3月31日

- ・環境経営レポートの発行日

令和4年8月10日

- ・作成責任者

環境事務局 藤川 真由子

- ・次回の発行予定

令和5年7月予定

Ⅲ. 環境経営方針

基本理念

わが社は主に管工事業、建築工事業、消防施設工事業を行っております。

わが社の事業活動においては、環境との調和・共存を図り、地域の環境保全活動に積極的に取り組むことで自然環境負荷低減を図っていきます。

そして、継続的な改善による環境経営を推奨します。

行動指針

環境経営活動が与える環境負荷を低減する為に、下記の事項について取り組みます。

1. エネルギーの使用を低減（節燃・節電）し、二酸化炭素排出の削減に努めます。
2. 廃棄物の削減、発生した廃棄物の再利用・リサイクルの推進を行います。
3. 節水に努め、水使用量の削減に努力します。
4. 環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入します。（グリーン購入）
5. 環境関連法規等を遵守します。
6. 環境に配慮した提案、設計、施工を重点分野として取り組みます。
7. 地域社会貢献活動を行います。
8. 働きやすい職場環境の整備を行います。
9. 環境経営方針は、広く従業員に周知徹底します。
10. 環境レポートを作成し、公表します。

制定日：平成30年10月1日

株式会社 東和設備
代表取締役

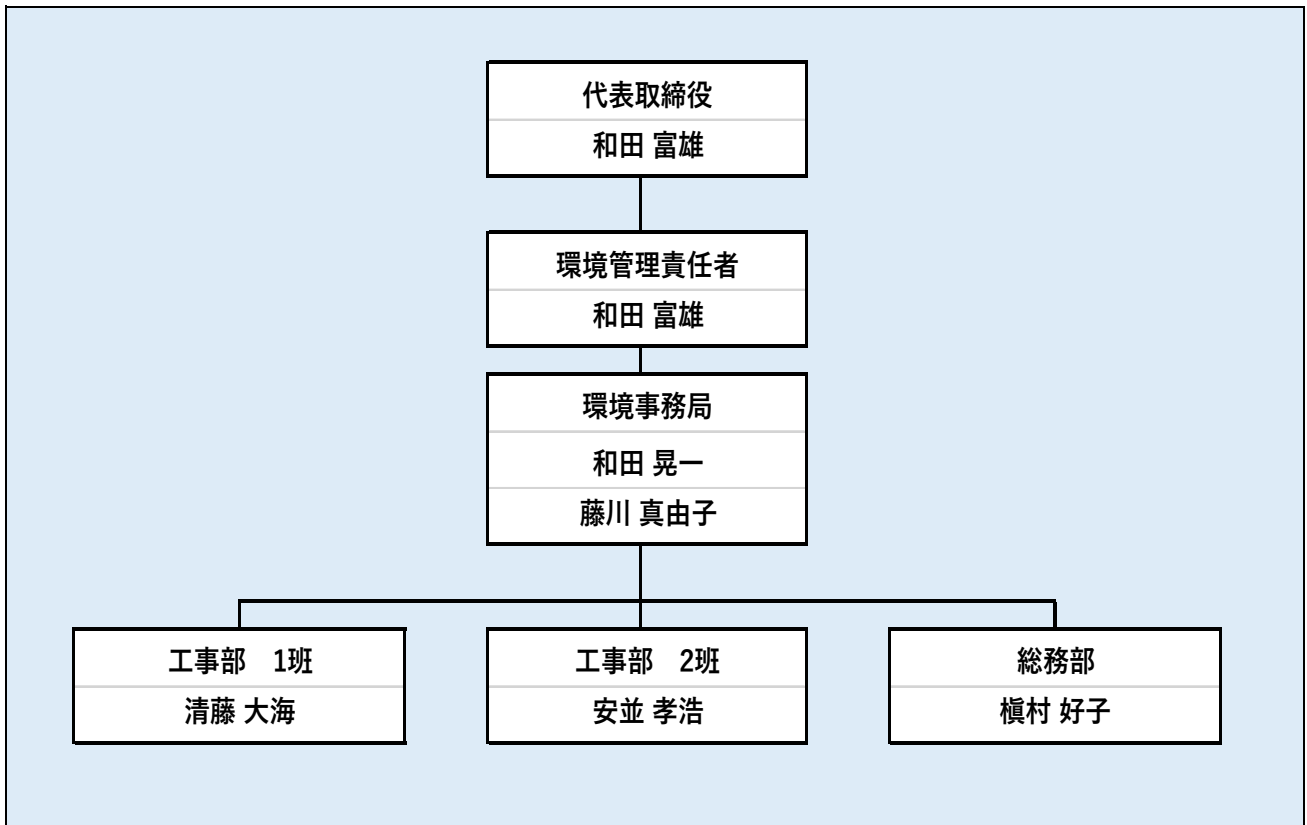
初田富雄

IV. 環境管理実施体制

承認者 和田富雄 照査者 和田富雄

作成者 藤川真由子 作成日 令和4年4月1日

株式会社 東和設備
環境管理組織図



担当者	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な経営諸資源（人材・資金・機械設備・技術技能を含む）を準備する ・環境管理実施体制の承認 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築・実施・管理 ・環境管理実施体制の確認 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画を確認 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標・環境経営計画原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
総務部	<ul style="list-style-type: none"> ・電気使用の二酸化炭素排出量の削減に努める ・事務系一般廃棄物、事務所内廃棄物の管理 ・水使用量の削減に努める ・事務用品のグリーン購入に努める
工事部	<ul style="list-style-type: none"> ・車両燃料使用の二酸化炭素排出量削減に努める ・産業廃棄物、建設現場廃棄物の管理 ・工事現場での環境配慮製品の提案・施工
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加

V. 環境経営目標

承認者 和田富雄 照査者 和田富雄

作成者 和田 晃一 作成日 令和3年4月1日

(1) 1年間の目標

		単位	基準値	一年間の目標
			令和元年4月～令和2年3月	令和3年4月～令和4年3月
売上高		百万円	394	410
電力使用量	総量	kWh	20,187	19,985.13
	原単位	kWh/百万円	51.23	48.74
ガソリン使用量	総量	ℓ	11,781.4	11,663.6
	原単位	ℓ/百万円	29.9	28.44
軽油使用量	総量	ℓ	1,347.7	1,334.22
	原単位	ℓ/百万円	3.42	3.25
CO ₂ 排出量	総量	t-CO ₂	41.53	41.11
	原単位	t-CO ₂ /百万円	0.1	0.10
水使用量	総量	m ³	227	224.73
	原単位	m ³ /百万円	0.58	0.55
産業廃棄物排出量	総量	t	99.13	98.13
	原単位	t/百万円	0.25	0.24
産業廃棄物再資源化率		%	31	34
一般廃棄物排出量	総量	t	1.01	1.0
	原単位	t/百万円	0.06	0.002
グリーン購入率	総量	%	39.7	40.1
環境配慮工法	総量	件	9/9	全件
社会貢献活動	総量	回	3	3

○購入電力のCO₂排出係数は平成29年12月21日公表の四国電力の調整後排出係数0.529kg-CO₂/kWhを使用した

○グリーン購入率は事務用品の購入におけるグリーン購入法適合品の購入個数の全体割合で算出する

○環境配慮工法とは低騒音・排出ガス対策型機械の使用、グリーン購入法適合品の使用（空調機）、省エネ基準クリア商品（省電力・節水型）の使用（水廻り機器）、廃棄物削減や運搬・加工の省力化（材料アップ化）の事とし、それらを実施した工事件数(1千万円以上の工事)とする。1千万円以下の工事については、工事内容・工事規模・現地状況・顧客要望に沿った環境に配慮した取り組みを実施する。

(2) 中長期目標

		単位	令和元年4月～ 令和2年3月 (基準年)	令和4年4月～ 令和5年3月 目標	令和5年4月～ 令和6年3月 目標	令和6年4月～ 令和7年3月 目標
売上高		百万円	394	410	410	410
電力使用量	総量	kWh	20,187	19,785.28	19,587.43	19,391.56
	原単位	kWh/百万円	51.23	48.26	47.77	47.30
ガソリン使用量	総量	ℓ	11,781.4	11,546.96	11,431.49	11,317.18
	原単位	ℓ/百万円	29.9	28.16	27.88	27.60
軽油使用量	総量	ℓ	1,347.7	1,320.88	1,307.67	1,294.59
	原単位	ℓ/百万円	3.42	3.22	3.19	3.16
CO2 排出量	総量	t-CO2	41.53	40.70	40.29	39.89
	原単位	t-CO2/百万円	0.1	0.099	0.098	0.097
水使用量	総量	m ³	227	222.48	220.26	218.06
	原単位	m ³ /百万円	0.58	0.55	0.54	0.53
産業廃棄物排出量	総量	t	99.13	97.16	96.19	95.23
	原単位	t/百万円	0.25	0.24	0.23	0.23
産業廃棄物再資源化率		%	31	38	41	45
一般廃棄物排出量	総量	t	1.01	0.99	0.98	0.97
	原単位	t/百万円	0.06	0.002	0.002	0.002
グリーン購入率	総量	%	39.7	40.5	40.9	41.3
環境配慮工法	総量	件	9/9	全件	全件	全件
社会貢献活動		回	3	4	5	6

VI. 環境経営計画

承認者 和田富雄 照査者 和田富雄

作成者 和田 晃一 作成日 令和3年4月1日

令和3年4月1日～令和4年3月31日

項目		活動内容	評価	担当者
CO2 排出量 削減	燃料使用量	○急発進、急ブレーキの禁止		石山竜太郎 安並孝浩
	削減	○現場に行く時は乗り合わせる		
		○毎月車両点検をする		
		○不要な材料・工具は載せない		
		○アイドリングストップの徹底		
		○事前に材料を確認し車両の使用を最小限にする		
		○用事が無いのに車両を使用しない		
		○車内の整理整頓をする		
		○車両エアコン使用抑制		
		○低燃費車の導入		
電力使用量 削減	電力使用量	○扇風機の使用、衣類での温度調整		藤川真由子 榎村好子
	削減	○エアコンの定期的な清掃（4月・10月）		
		○外気温の熱伝導遮断（ブラインド、緑化）		
		○窓の常時開放による空気の循環		
		○PC機器の待機電力の節電（スリープ設定）		
		○長時間離席時のデスク照明の消灯		
		○トイレ照明の消灯		
		○動線の工夫（机・機器の配置）		
用水使用量削減 （排水量削減）		○メーターを確認する（漏水防止）		
		○節水表示		
廃棄物削減	一般廃棄物	○ミスプリント、納入仕様書等の書面使用		片岡博之 小田朋広 和田晃一
		○両面コピー・縮小コピーの実施		
		○分別ごみ置き場の設置（ごみを混ぜない）		
		○事務所ごみは分別後、清掃センターへ持ち込み		
		○再資源ペーパーの使用		
		○産業廃棄物	○工事現場での分別の徹底	
		○適正なリサイクル業者への搬送		
		○倉庫内の整理整頓		
		○材料リストを必ず確認し発注する		
		○ manifests の適正管理		
		○産業廃棄物はできるだけ、再資源業者に委託処理する		
環境負荷の少ない 工事の実施		○現場内の資材管理の徹底		清藤大海 加茂実
		○グリーン購入法適合品の購入（空調機）		
		○省エネ基準クリア商品を購入		
		○体調管理、冷却グッズの使用		
グリーン購入		○現場での材料ブレハブ化		藤川真由子
		○Eコマース、グリーンマーク商品の購入		
		○詰め替え商品の購入		

Ⅶ. 環境経営目標の実績

承認者 和田富雄 照査者 和田富雄

一年間の実績及び目標達成状況（期間：令和3年4月～令和4年3月）

作成者 藤川真由子 作成日 令和4年4月1日

		単位	1年間の目標	1年間の実績	実績値／目標値 (%)	目標達成状況
売上高		百万円	410	718		
電力使用量	総量	kWh	19,985.13	22,651	113	×
	原単位	kWh／百万円	48.74	31.5		
ガソリン使用量	総量	ℓ	11,663.6	8,846.88	76	○
	原単位	ℓ／百万円	28.44	12.32		
軽油使用量	総量	ℓ	1,334.22	3,091.86	232	×
	原単位	ℓ／百万円	3.25	4.31		
CO ₂ 排出量	総量	t-CO ₂	41.11	40.49	98	○
	原単位	t-CO ₂ ／百万円	0.10	0.056		
水使用量	総量	m ³	224.73	188	84	○
	原単位	m ³ ／百万円	0.55	0.26		
産業廃棄物排出量	総量	t	98.13	8.4	9	○
	原単位	t／百万円	0.24	0.01		
産業廃棄物再資源化率		%	34	88	259	○
一般廃棄物排出量	総量	t	1.0	0.8	80	○
	原単位	t／百万円	0.002	0.0009		
グリーン購入率	総量	%	40.1	39	97	×
環境配慮工法	総量	件	全件	6/6	100	○
社会貢献活動	総量	回	3	2	67	×

□購入電力のCO₂排出係数は平成29年12月21日公表の四国電力の調整後排出係数0.529kg-CO₂/kWhを使用した。

□達成項目はガソリン使用量・水使用量、産業廃棄物排出量、産業廃棄物再資源化率・環境配慮工法、一般廃棄物排出量。環境配慮工法の実績件数は1千万円以上の工事件数としているが、1千万円以下の工事においても、工事内容・工事規模・現地状況・顧客要望に沿った環境に配慮した取り組みを実施している。環境配慮工法とは低騒音・排出ガス対策型機械の使用、グリーン購入法適合品の使用（空調機）、省エネ基準7A商品（省電力・節水型）の使用（水廻り機器）、廃棄物削減や運搬・加工の省力化（材料グレード化）の事とする。

□環境経営目標の未達成理由

電力使用量：新型コロナウイルス感染症予防対策による換気にてエアコン負荷の動力増大・完成工事高増加にて労働時間増加、ウォーターサーバー購入した為、電力使用量増加となった。

軽油使用量：外構工事の自社施工によりダンプ使用、重機使用が増加した為軽油使用量増加となった。

グリーン購入率：購入頻度の高い事務用消耗品が対象外、対象商品の購入が伸び悩み目標未達成となった。

社会貢献活動：コロナ禍で新たな活動が出来なかった事や、地域道路の清掃は定期的に行っていたが記録していなかった為目標未達成となった。

VII. 環境経営目標の実績

運用初年度、過去3年間の実績推移

		単位	平成24年度 (初年度)	平成30年度	平成31年度 令和元年度	令和2年度
売上高		百万円	312	363	394	473
電力使用量	総量	kWh	22,620.0	19,636.0	20,187	21,607
	原単位	kWh/百万円	72.50	54.09	51.23	45.7
ガソリン使用量	総量	ℓ	10,094.0	11,671.0	11,781.4	11,445.05
	原単位	ℓ/百万円	32.35	32.15	29.9	24.2
軽油使用量	総量	ℓ	1,086.0	558.0	1,347.7	2,495.05
	原単位	ℓ/百万円	3.48	1.54	3.42	5.275
CO ₂ 排出量	総量	t-CO ₂	39.0	39.39	41.53	44.43
	原単位	t-CO ₂ /百万円	0.125	0.11	0.1	0.094
水使用量	総量	m ³	165.0	211.0	227	211
	原単位	m ³ /百万円	0.53	0.58	0.58	0.446
産業廃棄物排出量	総量	t	54.0	95.86	99.13	82.27
	原単位	t/百万円	0.17	9.59	0.25	0.17
一般廃棄物排出量	総量	t	0.7	0.56	1.01	0.41
	原単位	t/百万円	0.00	0.00	0.06	0.0009
産業廃棄物再資源化率	総量	%	82	59	31	60
グリーン購入率	総量	%	54.2	55.0	39.7	35
環境配慮工法	総量	件	1/1	6/6	9/9	5/5
社会貢献活動	総量	回	2	3	3	2

環境経営活動の取組状況

【 環境経営活動の周知徹底① 】

毎月行われている工事部会にて環境経営活動の各担当者が問題点、課題について報告し話し合っています。

エコアクションの知識が深まり、身近に感じながら活動しています。



1ヶ月間の環境経営計画の取組を担当者が評価しています。

環境経営計画（令和3年度評価・令和4年度計画について）		作成者：		
※令和3年度の活動内容についての評価を○△×で記載をお願いします。 ※右翼に具体的に取組んだ内容や新たな活動内容の提案をお願いします。				
令和3年4月～令和4年3月				
項目	活動内容	評価	担当者	
燃料使用量	○急発進、急ブレーキの禁止			
削減	○現場に行く時は乗り合わせる			
	○毎月車両点検をする			
	○不要な材料・工具は載せない			
	○7ドリングストアの徹底			
	○事前に材料を確認し車両の使用を最小限にする			
	○用事が無いのに車両を使用しない			
	○車内の整理整頓をする			
	○車両エアコン使用抑制			
	○低燃費車の導入			
	電力使用量	○扇風機の使用、衣類での温度調整		
削減	○エアコンの定期的な清掃（4月・10月）			
	○外気温の熱伝導遮断（ブラインド、緑化）			
	○窓の常時開放による空気の循環			
	○PC機器の待機電力の節電（スリープ設定）			
	○長時間離席時のデスク照明の消灯			
	○トイレ照明の消灯			
	○動線の工夫（机・機器の配置）			
	○有給休暇促進日の設定			
	雨水使用量削減	○メーカーを確認する（漏水防止）		
	（排水量削減）	○節水表示		
一般廃棄物	○ミスプリント、納入仕様書等の裏面使用			
削減	○両面コピー・縮小コピーの実施			
	○分別ごみ置き場の設置（ごみを混ぜない）			
	○事務所ごみは分別後、清掃センターへ持ち込み			
	○再資源ペーパーの使用			
産業廃棄物	○工事現場での分別の徹底		片岡	
削減	○適正なリサイクル業者への搬送		小田	
	○倉庫内の整理整頓			
	○材料リストを必ず確認し発注する			
	○マニファクトの適正管理		和田 (晃)	
○産業廃棄物はできるだけ、再資源業者に委託処理する				
環境負荷の少ない	○現場内の資材管理の徹底			
工事の実施	○グリーン購入法適合品の購入（空調機）		清藤	
	○省エネ基準7割商品を購入		加茂	
	○体調管理、冷却グッズの使用			
	○現場での材料プレハブ化			
グリーン購入	○エコマーク、グリーンマーク商品の購入		藤川	
	○詰め替え商品の購入			


※評価方法 ○：取組は良好 △：取組が不十分 ×：取組が出来ていない

【環境経営活動の周知徹底 ②】

CO2削減の取組を宣言する看板を社屋に設置、外部へもお知らせしています。

私たちは省エネルギー、省CO2に積極的に取り組んでいます。

われわれ空調衛生工事業は、省エネルギー及び省CO2に積極的に取り組み、低炭素社会づくりを通じて地球環境の保全を推進します。

 **株式会社 東和設備**
(一社) 日本空調衛生工事業協会

【より良い労働環境づくり①】

◎新型コロナウイルス感染症予防対策

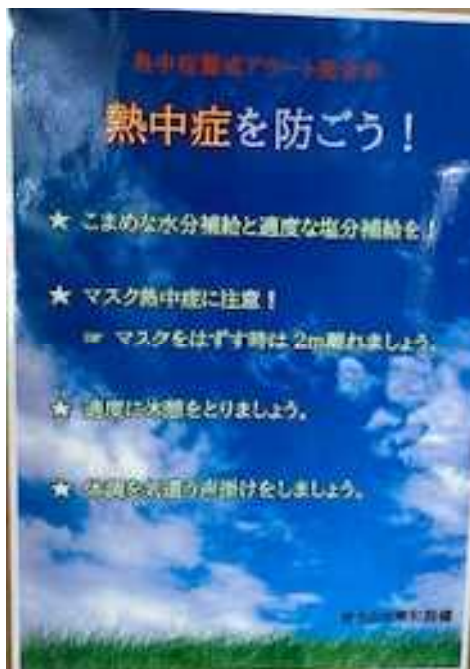
令和2年1月より新型コロナウイルス感染症が広がり始め、日本中を震撼させました。

進行中の工事では、現場内でコロナ感染者を出さず遅滞なく工事を完成させるべく、機器納入業者、及び協力業者への新型コロナウイルス感染症予防対策を周知徹底して頂くように通達を致しました。そして、新型コロナウイルス感染症予防対策における以下の事項に取り組みました。

1. 現場事務所入り口を常に開放（換気）。
2. 安全衛生協議会開催時、現場事務所打合せ室の消毒、清掃（開始前、終了後）。
3. 社内工事部会ではソーシャルディスタンスを保ちその重要性を周知徹底（3密回避）。
4. 重機や車両等の操作前の消毒等の徹底。
5. 現場や事務所にオリジナルポスターを設置し、3密回避等の意識向上と作業姿勢の定着を図る。
6. 事務所入出時の手洗い及び手指消毒の励行。
7. 社員出勤時、来客者入室時には検温チェック。
8. 手洗時のタオルの撤去及びペーパータオルの利用開始（事務所手洗い廻り）
9. 事務所入り口を常に開放、換気扇使用（24時間換気）。
10. 社員へのマスク配布、装着の徹底。
10. 現場と自宅の直行直帰及び帰宅直後の入浴を推奨。

【 よりよい労働環境づくり 】

感染症予防対策を呼びかけるポスターを社内3カ所に掲示しています。
はじめは出来ていた対策も長期間になるとおろそかになります。
毎月異なったポスターを掲示する事で再度注意を呼びかける事ができています。



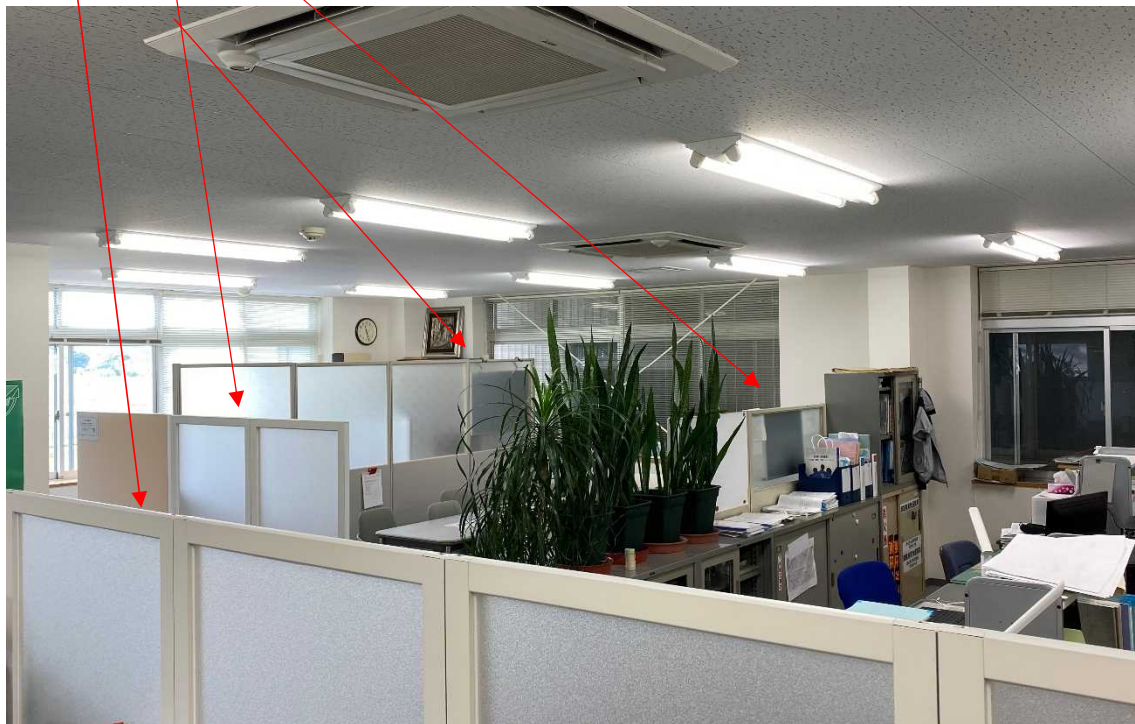
出入口にポスターを掲示、出入り口扉を常に開放するよう促しています。
ポスター掲示により、注意して開放できています。



【 よりよい労働環境づくり 】

パーテーションを設置し、他者の視線を遮ることで集中して働ける環境にしました。
作業効率が上がり、労働時間の短縮になっています。

パーテーションの設置



【 より良い環境づくり 】

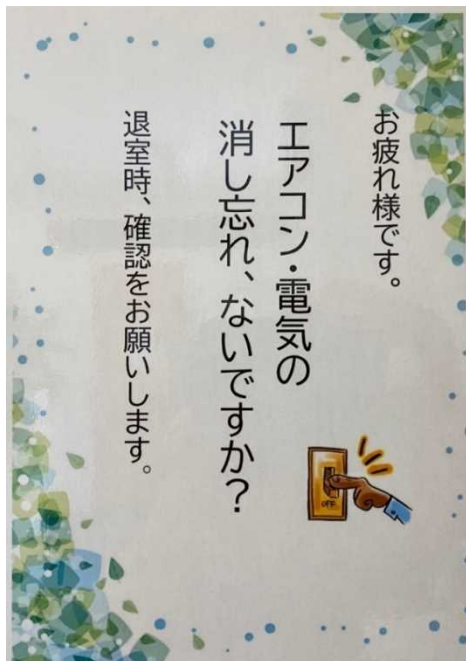
効率的な動線を考え、事務所内中心にコピー機器を設置、打ち合わせ室と個人デスク両方から最短距離で使用できる環境に変更しました。

ストレスなく次の作業に移行でき、作業時間の短縮、労働時間の短縮になっています。



【 電力使用量削減 】

退室時のエアコン・電気の消し忘れがないよう呼びかけています。
ポスターを事務所出口扉に掲示することで注意できています。



【 電力使用量削減 ・ 水使用量削減 】

電気ポットを少量沸かすタイプのケトルに変更、必要な量を必要な時に使用しています。
使用する際にコンセントをさすことで待機電力の削減できています。
ウォーターサーバーを設置し必要な量を使用できています。



【 電力使用量削減 】

常時換気扇の使用より、入り口扉を開ける範囲を最小限にしています。
エアコン動力の負荷を軽減させています。



観葉植物の設置、ブラインドの開閉にて外気温の熱伝導の利用や遮断により室内温度を調整しています。



【 燃料使用量削減 】

毎月、車両点検月報を作成しています。

運転責任者が走行距離、点検箇所の自己評価、安全目標を設定しています。

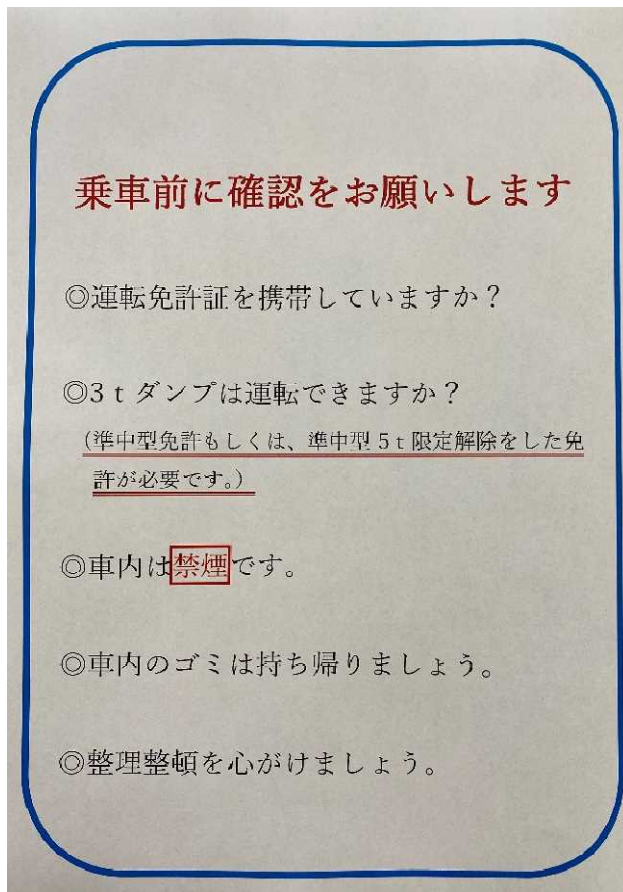
車両点検月報			
車両ナンバー		令和 年 月 日	
前月走行距離	km	今月走行距離	km
エンジンオイル交換実施日 (令和 年 月 日)		km	
点検箇所		良	悪
1. ハンドル	遊び・がた・振れ・その他		
2. ブレーキ	踏みしろ・ブレーキのきき・その他		
3. タイヤ	空気圧・摩耗・損傷・その他		
4. 原動機	始動・異常音・排気色・その他		
5. 燈火装置	前照灯・尾灯・番号灯・制動灯・その他		
6. 警音器その他	警音器・方向・指示器・窓ふき器・番号標・その他		
7. 計器類	燃料計・水温計・油圧計・電流計・速度計・その他		
8. シートベルト着用			
9. ボディの汚れ			
10. ボディの傷			
11. 運転席の汚れ			
12. ダッシュの汚れ			
13. 荷台の整理			
14. 助手席の整理			

安全運転管理者 (印)

運転責任者 (印)

〈 今月の安全目標 〉

乗車時には必ず運転免許証の携帯、車内禁煙、ごみは持ち帰る、整理整頓の心がけを車内ポスターにて確認しています。



【 一般廃棄物の削減 】

社内文書はミスコピー用紙、不要なコピー用紙、不要な取扱説明書等を使用しています。
インクカートリッジ・テープカートリッジ改修BOXを設置しリサイクル会社へ配送しています。



【 産業廃棄物の削減 】

廃棄場所に種類表記ポスターを掲示、分別を徹底しています。



【 産業廃棄物の削減 】

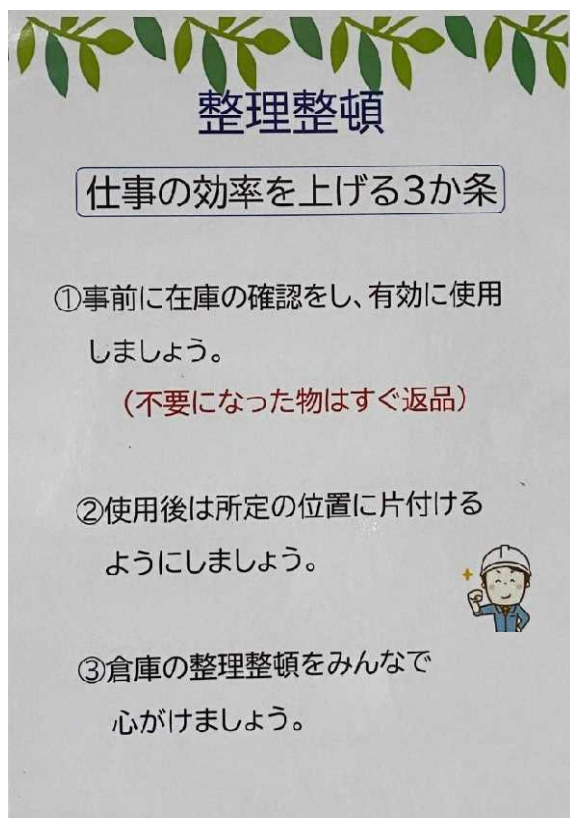
ダンボールはリサイクル業者が収集しています。

リサイクルの際の注意書きポスターを作成、掲示しています。



【 産業廃棄物の削減 】

事前に倉庫内在庫の確認をする、所定の位置に片付ける、倉庫内の整理整頓を心がけるようポスターを掲示し呼びかけています。



Ⅷ. 環境経営計画の取組結果とその評価

環境経営計画の取組結果とその評価(期間:令和3年4月1日～令和4年3月31日)

作成者 藤川真由子 作成日令和3年4月1日

項目	担当者	活動内容	評価	取組結果説明(評価方法)	
二酸化炭素排出量の削減	燃料使用量	○急発進、急ブレーキの禁止	○	全社員、車両点検月報の記録が継続して出来ていた。前日に乗り合わせや材料の準備の打ち合わせを行い車両の使用を最小限にしていた。暖房の使用は衣類の工夫により使用抑制できたが、冷房は熱中症対策のため推奨せず使用抑制出来ていなかった。各車両の走行距離、ガソリン使用料のチェックにより燃費を算出している。買い替えの検討はしているが導入には至っていない。	
		○現場に行く時は乗り合わせる	△		
		○毎月車両点検をする	○		
		○不要な材料・工具は載せない	○		
		○アイドリングストップの徹底	○		
		○事前に材料を確認し車両の使用を最小限にする	○		
		○用事が無いのに車両を使用しない	○		
		○車内の整理整頓をする	○		
		○車両エアコン使用抑制	△		
	○低燃費車の導入	△			
	電力使用量	藤川 榎村	○扇風機の使用、衣類での温度調整	○	コロナ感染予防対策で換気扇、扇風機、窓の開放にて空気の循環はできた。エアコンの定期的な清掃もできた。不在時の照明の消灯は消し忘れがあったものの、フォローし合う事ができた。機の配置を替え機器との動線が効率的になった。有給休暇促進日を設定しているが、工事の日程により別の日に取れるよう日程調整の働きかけをしていた。
			○エアコンの定期的な清掃(4月・10月)	○	
			○外気温の熱伝導遮断(ブラインド、緑化)	○	
			○窓の常時開放による空気の循環	○	
			○PC機器の待機電力の節電(スリープ設定)	○	
			○長時間離席時のデスク照明の消灯	○	
			○トイレ照明の消灯	○	
			○動線の工夫(机・機器の配置)	○	
			○有給休暇促進日の設定	○	
水の削減	榎村	○メーターを確認する(漏水防止)	○	メーター指数、水使用量を確認し集計出来た。	
		○節水表示	○		
廃棄物削減	一般廃棄物	藤川 榎村	○ミストの削減、ミストの裏面使用	○	両面コピー、ミスプリント裏面コピーが実行できている。分別ごみ置き場を設置している。ダンボールの分別方法についての注意書きポスターを掲示し周知徹底している。
			○両面コピー・縮小コピーの実施	○	
			○分別ごみ置き場の設置(ごみを混ぜない)	○	
			○事務所ごみは分別後、清掃センターへ持ち込み	○	
			○再資源ペーパーの使用	○	
	産業廃棄物	片岡 小田	○工事現場での分別の徹底	○	廃棄物をかご以外の場所に置かないようにできている。倉庫内の整理整頓、倉庫出入り口の清掃が出来ている。材料の配置は管理しやすいようにしている。
			○適正なリサイクル業者への搬送	○	
			○倉庫内の整理整頓	○	
		和田(晃)	○材料リストを必ず確認し発注する	○	
			○マニフェストの適正管理	○	
○産業廃棄物はできるだけ、再資源業者に委託処理する	○				
環境配慮工法	清藤 加茂	○現場内の資材管理の徹底	○	省エネ製品の選定、購入できた。井戸水をトイレに利用する工法で施工した。資材等の運搬回数を最小限に務めた。事前に配管等の加工を行い廃材の軽減に努めた。	
		○グリーン購入法適合品の購入(空調機)	○		
		○省エネ基準7A商品を購入	○		
		○体調管理、冷却グッズの使用	○		
		○現場での材料プレハブ化	○		
グリーン購入	藤川	○Eコマース、グリーンマーク商品の購入	△	購入頻度の高い商品がグリーンマークではなかった。詰め替え商品の購入は積極的に行えた。	
		○詰め替え商品の購入	○		

※評価方法 ○：取組は良好 △：取組が不十分 ×：取組が出来ていない

IX.次年度の環境経営目標

承認者 和田富雄 照査者 和田富雄
作成者 藤川真由子 作成日 令和4年4月1日

(1) 1年間の目標

		単位	基準値	一年間の目標
			令和元年4月～令和2年3月	令和4年4月～令和5年3月
売上高		百万円	394	410
電力使用量	総量	kWh	20,187	19,785.28
	原単位	kWh/百万円	51.23	48.26
ガソリン使用量	総量	ℓ	11,781.4	11,546.96
	原単位	ℓ/百万円	29.9	28.16
軽油使用量	総量	ℓ	1,347.7	1,320.88
	原単位	ℓ/百万円	3.42	3.22
CO ₂ 排出量	総量	t-CO ₂	41.53	40.70
	原単位	t-CO ₂ /百万円	0.1	0.099
水使用量	総量	m ³	227	222.48
	原単位	m ³ /百万円	0.58	0.55
産業廃棄物排出量	総量	t	99.13	97.16
	原単位	t/百万円	0.25	0.24
産業廃棄物再資源化率		%	31	38
一般廃棄物排出量	総量	t	1.01	0.99
	原単位	t/百万円	0.06	0.002
グリーン購入率	総量	%	39.7	40.5
環境配慮工法	総量	件	9/9	全件
社会貢献活動	総量	回	3	4

○購入電力のCO₂排出係数は平成29年12月21日公表の四国電力の調整後排出係数0.529kg-CO₂/kWhを使用した

○グリーン購入率は事務用品の購入におけるグリーン購入法適合品の購入個数の全体割合で算出する

○環境配慮工法とは低騒音・排出ガス対策型機械の使用、グリーン購入法適合品の使用（空調機）、省エネ基準ワグ商品（省電力・節水型）の使用（水廻り機器）、廃棄物削減や運搬・加工の省力化（材料プレハブ化）の事とし、それらを実施した工事件数(1千万円以上の工事)とする。1千万円以下の工事については、工事内容・工事規模・現地状況・顧客要望に沿った環境に配慮した取り組みを実施する。

X. 次年度の環境経営計画

次年度の環境経営計画(期間:令和4年4月1日～令和5年3月31日)

作成者 藤川真由子 作成日令和4年4月1日

項目		活動内容	担当者	期間
CO2 排出量 削減	燃料使用量 削減	<input type="checkbox"/> 急発進、急ブレーキの禁止 <input type="checkbox"/> 現場に行く時は乗り合わせる <input type="checkbox"/> 毎月車両点検をする <input type="checkbox"/> 不要な材料・工具は載せない <input type="checkbox"/> アイドリングストップの徹底 <input type="checkbox"/> 事前に材料を確認し車両の使用を最小限にする <input type="checkbox"/> 用事が無いのに車両を使用しない <input type="checkbox"/> 車内の整理整頓をする <input type="checkbox"/> 車両エアコン使用抑制 <input type="checkbox"/> 低燃費車の導入	石山竜太郎 安並孝浩	令和4年4月 ～令和5年3月
	電力使用量 削減	<input type="checkbox"/> 扇風機の使用、衣類での温度調整 <input type="checkbox"/> エアコンの定期的な清掃(4月・10月) <input type="checkbox"/> 外気温の熱伝導遮断(ブラインド、緑化) <input type="checkbox"/> 窓の常時開放による空気の循環 <input type="checkbox"/> PC機器の待機電力の節電(スリープ設定) <input type="checkbox"/> 長時間離席時のデスク照明の消灯 <input type="checkbox"/> トイレ照明の消灯 <input type="checkbox"/> 電気ポット待機電力の削減 <input type="checkbox"/> 休日取得の促進	藤川真由子 榎村好子	
水使用量削減 (排水量削減)		<input type="checkbox"/> メーカーを確認する(漏水防止) <input type="checkbox"/> 節水表示		
廃棄物削減	一般廃棄物	<input type="checkbox"/> ミソプリント、納入仕様書等の書面使用 <input type="checkbox"/> 両面コピー・縮小コピーの実施 <input type="checkbox"/> 分別ごみ置き場の設置(ごみを混ぜない) <input type="checkbox"/> 事務所ごみは分別後、清掃センターへ持ち込み <input type="checkbox"/> 事務所での分別の徹底		
	産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 工事現場での分別の徹底 <input type="checkbox"/> 適正なリサイクル業者への搬送 <input type="checkbox"/> 倉庫内の整理整頓 <input type="checkbox"/> 材料リストを必ず確認し発注する <input type="checkbox"/> マニフェストの適正管理 <input type="checkbox"/> 産業廃棄物はできるだけ、再資源業者に委託処理する	片岡博之 小田朋広 和田晃一	
化学物質適正管理		<input type="checkbox"/> 指定した保管場所で適正に管理する		
環境配慮工法		<input type="checkbox"/> 現場内の資材管理の徹底 <input type="checkbox"/> 資材等、運搬回数の削減 <input type="checkbox"/> 省エネ基準クリア商品を購入 <input type="checkbox"/> グリーン購入法適合品の購入(空調機) <input type="checkbox"/> 現場での材料プレハブ化	清藤大海 加茂実	
グリーン購入		<input type="checkbox"/> Eマーク、グリーンマーク商品の購入 <input type="checkbox"/> 詰め替え商品の購入	藤川真由子	

XI. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

承認者 和田富雄 照査者 和田富雄

作成者 和田晃一 作成日 令和4年4月2日

環境関連法規等の取りまとめ表

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	和田	○	令和4年 4月1日
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	和田	○	令和4年 4月1日
	第12条の三	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	和田	○	令和4年 4月1日
	第12条の三 7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び 都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	和田	○	令和4年 4月1日
	第14条 第14条の一 12項	産業廃棄物収集運搬業の都道府県知事の許可 （5年毎に更新） 産業廃棄物処理基準による収集運搬、処分 表示、書面備付義務	期限切れ 3ヶ月前	和田	○	令和4年 4月1日
規則第8条	○保管場所の表示 見やすい箇所に掲示板を設置 （縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	和田	○	令和4年 4月1日	
資源の有効な利用の促進に関する法律 （リサイクル法）	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	和田	○	令和4年 4月1日
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び 建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた 建設資材を使用する努力	必要時	—	—	—

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度	担当者	遵守状況	確認日
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	第9条 第10条	○分別解体等の実施 解体：床面積80m ² 以上 新築・増築：床面積500m ² 以上 ○対象建設工事は7日前までに都道府県知事に提出	必要時	— —	— —	— —
騒音規制法	第5条 第14条	○騒音規制基準の遵守 ○特定建設作業の実施届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	必要時 必要時	— —	— —	— —
振動規制法	第5条 第14条	○振動規制基準の遵守 ○特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	必要時 必要時	— —	— —	— —
消防法	第10条 第31条 第17条の3の2	○指定数量以上の危険物貯蔵の消防長への許可 第1石油類 ガソリン：200ℓ 第2石油類 灯油、軽油：1,000ℓ 第3石油類 重油：2,000ℓ 第4石油類 潤滑油：6,000ℓ ギヤ油、エンジンオイル、マシン油 ○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の危険物貯蔵) ○消防用設備等設置届書の消防署への提出	必要時 必要時 着工10日前	— — —	— — —	— — —
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法 (フロン排出抑法)	第5条	○簡易点検の実施	1回/3ヶ月	和田	○	令和4年 4月1日

フロン類の使用の 合理化及び管理の 適正化に関する法 (フロン排出抑制法)	第 19 条	○事業者によるフロン類の漏洩量等の報告 1,000 CO2-t/年以上、事業所所管大臣への報告	年 1 回	—	—	—
浄化槽法	第 10 条 第 11 条	○年 1 回の清掃、4 ヶ月に 1 回の保守点検実施 ○年 1 回の水質検査実施	年 1 回 1 回/4 ヶ月 年 1 回	和田	○	令和 4 年 4 月 1 日

(条例)

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 必要時	担 当 者	遵守状況	確認日
高知県環境基本条例	第 6 条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	和田	○	令和 4 年 4 月 1 日
高知市環境基本条例	第 5 条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	和田	○	令和 4 年 4 月 1 日
南国市環境基本条例	第 5 条 第 28 条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理 ○事業者の地球環境保全への取組	必要時	和田	○	令和 4 年 4 月 1 日

(— : 該当なし)

(○ : 遵守確認)

1. 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

令和 3 年 4 月 1 日より令和 4 年 3 月 31 日までの間、環境関連法規等の違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

XII. 代表者による全体評価と見直し・指示

(1) 環境目標達成状況について

① 化石燃料使用削減

ガソリン使用量が目標達成でした。車両点検月報の記録は継続して出来ており、各自が月目標を立てる事により安全運転や車内清掃の取組への意識向上が図れていました。前日に乗り合わせや材料の準備を徹底する事で非効率な車両使用を抑える事ができたと思われます。冷房は熱中症対策のため使用抑制していませんでしたが、暖房の使用は衣服の工夫により使用抑制できていました。

軽油使用量は目標未達成でした。自社での外構工事施工増加に伴いダンプトラック、重機使用の増加が要因と思われます。軽油使用量目標値の見直し、重機の管理に対する取組も行っていきます。

② 電力使用削減

目標未達成でした。新型コロナウイルス感染症予防対策のためエアコン稼働時に換気扇、扇風機、窓の開放をする事により効率的に空気を循環させていました。よって、電力使用量増加の要因としてエアコン動力の負荷増加が考えられます。

また、完成工事高が昨年度に比べ 1.5 倍増加している事や有給休暇促進日の設定をしているため現場の日程に合わせて各自が休日を取得している事や残業時間の増加などから、電力使用量が増加したと考えられます。

今後できるだけ一斉に休みを取得することや、残業時間の削減の目標にして働き方改革を含めた人員不足の解消も行っていきたいと思えます。

③ 二酸化炭素排出量削減

目標達成でした。CO₂ 排出量の内訳は車輛によるガソリン使用量 50.7%、現場軽油使用量 19.7%、本社電力使用量 29.6%、今年度も昨年に比べ電力使用量、現場軽油の排出量が増加しています。今後も外構工事件数は増加していくので、重機のメンテナンス管理の徹底と目標値の見直しをしていきます。働き方改革により電力使用量の削減を図りたいと思えます。

④ 水使用量削減

目標達成でした。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症予防対策において手洗いの励行を行っていますが、手指消毒液の普及により各場所で手指消毒する事が可能となりました。待機電力削減の取組において、電気ポットから少量沸かす電気ケトルに変更したことや、ウォーターサーバーを設置した事から必要な時に必要な量を使用している結果だと思えます。

⑤ 産業廃棄物排出量削減

目標達成でした。事前の配管等の加工を行い廃材を削減や現場での適切な分別処理にて削減に取り組みました。

分別の徹底、産業廃棄物のかごの周囲の清掃、マニフェストの適正な管理を今後も取り組んでいきます。

⑥ 一般廃棄物排出量削減

目標達成でした。コピー用紙裏紙使用の取組では、ミスプリントの他に取扱説明書など不要になった用紙の回収を呼びかけ裏紙使用の増加を促進、また可能な限り両面コピーする事を促進しました。

⑦ グリーン購入

目標未達成でした。昨年度に比べ工事高の増加からグリーン対象外のプロッター用紙、カッティングシート、ネームシートの購入が多く、購入率が依然として低下しています。完成工事高に応じた目標値設定の見直し、事務用品の在庫管理、詰め替え商品の購入を積極的に行っていきます。

⑧ 環境配慮工事

省エネ（節電・節水型）の空調機器・水廻り機器の提案を推進し、購入販売を実現しています。

井戸水をトイレに利用する工法での施工をしています。

資材等の運搬回数を最小限に努めました。

事前に配管等の加工を行い廃材の軽減する等の取り組みに努めました。

⑨ 社会貢献活動

マイバックキャンペーン 2021 に参加し社員のマイバック使用の定着を図りました。

「県民一斉美化清掃」活動へ参加した。今後、会社近隣地域の清掃活動なども積極的に行っていきたいと思います。

コロナ禍で新たな活動は出来ませんでしたが、地域道路の清掃は定期的に行っていました。

継続していきたいと思います。

(2) 環境活動取組の実施状況について

全体的に全社員で取組め実行出来ていると思います。

(3) 環境関連法規等の遵守について

問題なく遵守しています。

(4) 変更の必要性

燃料使用量の削減、電力使用量の削減に対する取組を追加し強化する必要があると思われます。

(5) 環境管理実施体制について

代表者や各部門の担当者の役割、権限を定め体制の構築が出来ていると思います。

(6) 総合評価及び見直し・指示

環境活動も8年目となりました。

環境経営方針は社員に周知徹底できており、継続していきたいと思います。

実施体制は見直しを行い、新体制では各部署の役割分担が出来ていたと思います。

そして、昨年に引き続き継続した取り組みが出来たと思います。

外構工事の自社施工が増加したことから重機使用増加したため軽油使用量削減未達成、新型コロナウイルス感染症予防対策強化や完成工事高増加に伴い電力使用量削減未達成、グリーン購入率未達成でした。

ガソリン使用量削減や産業廃棄物の管理などの取組の定着は図れていると思いますが、今後も社員同士がコミュニケーションをとって車両使用頻度の工夫や産業廃棄物管理の周知徹底を図っていきたいと思います。

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底して行っている上で電気使用量は未達成でしたが、体調に十分気を付けるようになった結果、体調不良で休む社員は減少しました。人員不足解消、効率のよい働き方の取組として基本的な感染症予防対策は継続していきたいと思います。

そして次年度も環境配慮工法として下記を特に推し進めていきます。

1. トイレの節水型への取替工事・空調機器の節電型への取替等の提案施工。
2. 材料のプレハブ化による廃棄物削減や運搬・加工の省力化。
3. 低騒音・低排出ガスの建設機械の使用。

環境経営システムは有効に機能しています。社員の取組は定着してきました。今後は各項目の取組をチームで担当し活動内容を毎月の工事部会で評価していきます。そして、随時各自が新たな取組を提案し社員一丸となって取り組む事が大事だと思います。

作成日 令和4年4月5日

株式会社 東和設備
代表取締役 和田富雄